

設置者	図書館の人配等	図書館の課題
国立	司書教諭、学校司書(週3日、15時30分まで)の2名。 司書教諭は1年担任・生活指導部・司書教諭・部顧問(3つ)を担当。 常勤、正規雇用の職員は司書教諭のみ。書類作成や方針決定、対生徒・対教員についての判断等、図書館運営の責任 学校司書は、発注、整理等の日常業務を主として担当。	・職員が図書室に常駐できない ・司書教諭の時間軽減がまったくない ・時間的に図書委員の活動を活性化するのが困難 (本当は生徒と一緒に図書館を活性化したい)
私立	教務部内で、3名が担当。 主に司書教諭1人が担当している状況。	図書の貸出が中々のびないこと。
	総務部図書係、3名。 図書室常駐は1名のみ。	システム導入
		これからスタートで、多くのことを学んでいきたい。1年目です。
	中高共通の図書館。他に、幼・小ともに小さい図書館がある。 図書館長は全学園の図書館を統べる立場にある。 中学に1人、高校に4名の図書係の教員。 本の選定、映画観賞会などの行事を協力して進めている。	幼・小の図書館が手狭なこと。 中高の図書館が校舎の隅にあり、生徒から遠く、また手狭でもあり、授業利用がしにくいこと。 新年度から、場所的には、校舎の中心に移り、改善の見込み。
	生徒部、5人。 学校司書は常時図書室におり、図書館業務を行っている。	生徒の読書冊数の増加と質の向上。 教科との連携が全くないので、何か取り組みたい。
	メディアセンター室、6名。 学校司書は常勤。専職員ではない。 司書教諭の発令はされているが、時間の軽減はない。	・教科とのかかわり ・生徒の知的好奇心の向上
	4人	授業での図書館利用。
	学芸グループに属し、8名。 司書教諭は学芸グループ主任。 2時間は司書教諭に担当され、実務等に活用。	図書館を利用する生徒と教員をいかに増やすか。
	教務部図書係、。司書教諭と学校司書の2名・ 2時間は司書教諭に担当。授業以外は図書館に常駐して司書と共に取り組んでいる。 今年度は担任がなかったが次年度のことはわからない。	本が少ないので必死で集めている。
	総務部、9人。 2時間は司書教諭に担当。司書教諭の認知度の向上、図書館の授業利用を推進している。 担任は分掌なし。司書教諭は現在担任なので分掌の仕事はしていないが図書館に常駐。図書館での授業にできるだけ入るようになっている。	工業関係の書籍、資料の充実。(工業の授業利用は少なく、それほど差し迫ってはいない)。 時事問題(原発・TPP・天災等)の本をそろえるお金がない。府費として、図書費の充実をはかってほしい。
	6名。教諭5名(うち担任3名、非担任2名。図書担当は非担任1名。他は成績処理支援)。 実習教員(学校司書、再任用2日半勤務。分掌は図書以外)。 司書教諭は非担任の分掌教諭。 2時間は実質的に司書教諭には回っていない。	学校司書不在時の開館体制。教科教諭には、図書館の開館よりも優先する業務がある。養護教諭同様に専任の教員が必要。 3年後の問題。3年後には学校司書も退職、現在の司書教諭も異動が確実であり、閉めるしかない。
	学習指導部12人・司書教諭・図書館長。 2時間は没収され、展開授業に充当。	もっと学校内でメジャーになる。
	情報管理部図書係2名(司書教諭・家庭科実習助手) ほか、自発的に手伝ってくれる教職員4人 来年度より、開館には情報管理部が手助けの予定	利用者極少、予算極貧 会議室として利用されるため本棚のスペースが少ない
	総務部図書係、4名。 2時間軽減あり。 司書が配置されていないので、司書の仕事もできる範囲でしている。	近隣の高校との統廃合もあり、昨年度から図書の除籍を含めた大きな整備に取り掛かっている。そのため、今年度は2学期からしか開館できず、常駐できる教諭もないため、週3日の開館にとどまっている。 図書の数も半分ほどに減り、整備をどのように進めるか、人員をどのように確保するかが最大の課題。
	図書情報部、9人。 司書教諭が分掌長。分掌内に必ず司書教諭を含める。 2時間軽減は必ず司書教諭。 司書教諭は学校長が任命。	司書をされていた方が昨年退職され、その仕事は司書教諭が負っている。分掌内で常駐体制をとっているが、司書教諭に負担がかかり、十分なレファレンスなどの活動ができていない。現在は分掌長なので空き時間も多いが、今後どうなっていくのか、不安である。
府立	行事企画部、11人。 学校司書(実習助手)が図書主担。	学校司書の存続。 図書費の増額。
	・教務部図書係、1名 ・司書教諭は他分掌で、図書館の仕事にはまったく関わっていない。	利用が少ない。どうすれば利用してもらえるか。
	文化部、5名。 学校司書は時々家庭科実習の手伝いもする。 司書教諭、全くなし。	生徒達が若い時(高校時代)に心に残るものを感じて貰うこと。
	教務部図書係。司書教諭を含め7名。	・図書館での専門の仕事が、他の職員には手伝ってもらえない。 ・司書教諭であっても、担任もあるので、図書館にはなかなか来ることが難しい。
	分掌9人、図書係3人。 2時間の行方は不明。	司書として図書館の仕事ができる時間が少ない。
	総務部で、教諭7名、学校司書1名。 図書担当は学校司書のみ。 2学期から昼当番してもらっている。 2時間減は全体で吸収されたようだ。	学校図書運営の体制をつくっているところ。
	分掌6人、学校司書。 司書教諭は他の分掌の人で、位置づけられたことも知らない様子。今年度は全く図書館に関わりなし。 2時間は少人数展開授業に消化されている？公表されず不明。	古い本の廃棄。 PCデータ入力とバーコード貼り付け。 予算不足。 常駐者がいない。 業務の多様化。
	図書自治会10名、図書館担当。 司書教諭は名前のみで図書館に携わっていない。 2時間はどこかの教科へ。	現在は、図書のみ担当で開館できている。 職員の図書館への理解、協力もある。
	総務部、12名。 学校司書は図書館と生物の兼務。 司書教諭は分掌に入っているが…。	問題はたくさんです。
	図書視聴覚部。 教諭6名(うち再任用1名、講師1名)、実習助手1名、学校司書(図書専任)1名。 司書教諭は分掌は別だが、2時間は課題研究の授業で、図書室担当にあててもらった。来年度以降の扱いは未定。	今後、専任不在となる可能性がある。 総合学科の調べ学習にとって、図書資料は不可欠であるが、選書、配架、レファレンス、外部公共図書館資料の提供などは司書教諭にあてられた2時間だけでは不可能だと思う。
	教養総務部、7名。 司書教諭の発令なし。図書館は輪番で放課後5時まで当番。 担当の2時間は、他の名目の担当時間と一緒に数学の講師時間に。	常駐する人がいない。古い、きたない、暗い印象。 開架の整理が追いつかない。 新しい本の購入が進まない。 来館生徒が増えない。 使いづらい(あらゆる意味で)。